

第1期外国人市民会議 第10回会議 会議録

日時	2023（令和5）年11月26日（日曜日） 午前10時から正午まで
場所	市役所3階 庁議室
出席者	高座長、Tokunaga副座長、ウー委員、梁委員、内海委員、孟委員
欠席者	LUONG委員
事務局	笹野課長、北村課長代理、柳本係長、千葉
傍聴者	なし

議事

(1) 意見交換

第1期会議から市への提言案について、前回会議時点からの修正点を事務局から説明し、意見交換。

孟委員	<p>まず気づいたこととして、12 ページの「具体的な声」6行目に脱字がありました。</p> <p>そして質問ですが、外国人市民が増えたことで犯罪が増えたということがありますか。また、文化のちがいなどによるトラブルは増えていませんか。</p>
事務局	<p>提言書案のご指摘については修正します。</p> <p>特にここ数年で外国人市民が増加しているということ、生活の中で実感している人も多いと思います。犯罪が増えたというようなデータはありませんが、文化や習慣のちがいなどから、外国人市民と日本人市民との間でごみの出し方、自転車のルール、生活の中の音に関するトラブルも起きているとは聞いています。</p>
孟委員	<p>どうすればそのようなトラブルを防げるかということを考える必要がありますね。</p>
事務局	<p>ルールの周知も必要ですし、この機会に社会の側が認識を変えるべきところもあるかもしれません。</p>

<p>もんいいん 孟委員</p>	<p>生活ルール^{せいかつ}のことは、働き先^{はたら きき}の会社^{かいしゃ}に説明^{せつめい}してもら^らうの^のが^がいい^いと思^{おも}います。それから、祭り^{まつ}のような行事^{ぎょうじ}に外国人^{がいこくじん}市民^{しみん}も^もど^どん^ん参加^{さんか}して^{して}いく^{いく}こと^{こと}で、地域^{ちいき}の文化^{ぶんか}は^はも^もっ^っと^と豊^{ゆた}か^かに^にな^なる^るで^でし^しょ^ょう^う。急^{きゅう}に^に外国人^{がいこくじん}市民^{しみん}が^が増^ふえた^たこと^{こと}で、日本人^{にほんじん}市民^{しみん}が^が不安^{ふあん}に^に思^{おも}う^うか^かも^もし^しれ^れま^ませ^せん^んが、その^{その}よ^よう^うな^な場^ば面^{めん}で^で顔^{かお}を^を合^あわ^わせ^せて^て関^{かん}係^{けい}を^を築^{きず}く^くこ^こと^とが^が大^{たい}切^{せつ}です。</p>
<p>じむきょく 事務局</p>	<p>お互^{たが}い^しを^を知^しる^るこ^こと^とで、お互^{たが}い^の文^{ぶん}化^かを^を理^り解^{かい}で^でき^きま^ます^すね。来^{らい}年^{ねん}4⁴月^{げつ}に^に開^が館^{いかん}す^する^る多^た文^{ぶん}化^か共^き生^{せい}・人^{じん}権^{けん}プラ^{ぷら}ザ^ざで、外^{がい}国^{こく}人^{じん}市^し民^{みん}と^と日^に本^{ほん}人^{じん}市^し民^{みん}が^が交^{こう}流^{りゅう}で^でき^きる^るイ^いベ^べン^んト^とを^を開^{かい}催^{さい}す^する^るとい^いう^う方^{ほう}法^{ぽう}も^も考^{かん}え^えら^られ^れま^ます。地^ち域^{いき}主^{しゅ}体^{たい}で^でそ^その^のよ^よう^うな^な交^{こう}流^{りゅう}イ^いベ^べン^んト^とを^を実^じ施^しし^てい^いる^るこ^ころ^ろも^もあ^あり^りま^ます。 日^に本^{ほん}人^{じん}で^でも「日^に本^{ほん}に^には^はル^るー^ール^ルが^が多^{おほ}い^い」と^と感^{かん}じ^じる^るこ^こと^とが^があ^あり^りま^ます。法^{ほう}律^{りつ}で^で決^きま^まっ^って^てい^いる^るこ^こと^とも^もあ^あり^りま^ます^すが、こ^この^の機^き会^{かい}に^に変^かえ^えて^てい^いく^くべ^べき^きと^ところ^ろは^は変^かえ^えて^てい^いく^く必^{ひつ}要^{よう}も^もあ^ある^るで^でし^しょ^ょう^う。そ^その^の意^い味^みで^でも、交^{こう}流^{りゅう}を^を通^{つう}じ^じて^て分^わか^かり^り合^あう^うこ^こと^とは^は大^{たい}切^{せつ}です。</p>

(2) 意見交換

第2期会議^{だいにかいぎ}に向け^む、次^{つぎ}の^{かいぎ}会^{かい}議^ぎテ^てマ^まや^や会^{かい}議^ぎの^{すす}進^{かた}め^め方^{かた}について^{いけんこうかん}意見^{いけん}交^{こう}換^{かん}。

<p>りょういん 梁委員</p>	<p>一口^{ひとくち}に^に外^{がい}国^{こく}人^{じん}市^し民^{みん}とい^いって^ても、日^に本^{ほん}に^に来^きた^た目^{もく}的^{てき}は^は人^{ひと}そ^それ^れぞ^ぞろ^ろで^です。最^{さい}近^{きん}は^は外^{がい}国^{こく}人^{じん}労^{らう}働^{どう}者^{しゃ}の^{ぞう}増^め加^かが^か目^め立^だち^ちま^ます^すが、例^{れい}え^えば^ば一^{いち}時^じ的^{てき}な^な滞^{たい}在^{ざい}の^{ひと}人^{ひと}と^と永^{えい}住^{じゅう}者^{しゃ}で^では、必^{ひつ}要^{よう}と^として^{して}い^いる^る情^{じょう}報^{ほう}も、日^に本^{ほん}語^ご能^{のう}力^{りよく}も^も違^{ちが}う^うか^かも^もし^しれ^れま^ませ^せん。 私^{わたし}自^じ身^{しん}は^は日^に本^{ほん}で^で子^こ育^ごて^てし^して^てい^いて、子^こども^もは^は今^{こん}後^ご、日^に本^{ほん}の^が学^{がく}校^{こう}へ^へ行^いき^きま^ます。先^{さき}の^{はなし}話^わで^です^すが、私^{わたし}も^も将^{しょう}来^{らい}は^は日^に本^{ほん}で^で年^{ねん}金^{きん}を^をも^もら^らう^うこ^こと^とに^にな^なる^るで^でし^しょ^ょう^う。し^しか^かし、ず^ずっ^っと^と日^に本^{ほん}で^で生^{せい}活^{かつ}す^すの^ので^でな^なく、数^{すう}年^{ねん}間^{かん}働^{はたら}いて^{いて}国^{くに}へ^へ帰^{かえ}る^る人^{ひと}も^もい^いま^ます。そ^その^の場^ば合^あい、日^に本^{ほん}の^{びょういん}病^{びょう}院^{いん}に^に行^いく^くこ^こと^とは^はな^ない^いか^かも^もし^しれ^れま^ませ^せん。最^{さい}初^{しよ}から^かそ^その^{ひと}人^{ひと}が^が日^に本^{ほん}に^に来^きた^た目^{もく}的^{てき}を^を聞^きいて^{いて}お^おく^くと、そ^それ^れに^に合^あわ^わせ^せて^て必^{ひつ}要^{よう}な^な話^わが^がで^でき^きる^るの^ので^でな^ない^いで^でし^しょ^ょう^うか。毎^{まい}回^{かい}違^{ちが}う^うテ^てマ^まで^で掘^ほり^さげ^げる^るの^のも^も面^{おも}白^{しろ}い^いと^と思^{おも}い^いま^ます。そ^そし^して、そ^そこ^こで^で外^{がい}国^{こく}人^{じん}市^し民^{みん}か^から^らの^{いけん}意^い見^{けん}を^を受^しけ^けて、市^しが^がま^また^た何^{なに}か^かを^をす^する^るとい^いう^うこ^こと^とが^が大^{たい}切^{せつ}です。 私^{わたし}が^が興^{きょう}味^みを^をも^もっ^って^てい^いる^るの^のは、外^{がい}国^{こく}人^{じん}の^{ちいき}こ^こと^とを^を地^ち域^{いき}の^{にほんじん}日^に本^{ほん}人^{じん}が^がど^どう^う思^{おも}っ^って^てい^いる^るか^かとい^いう^うこ^こと^とです。例^{れい}え^えば^ば先^{さき}ほ^ほど^どの^{はなし}話^わに^に関^{かん}連^{れん}し</p>
----------------------	--

て、ルール違反なら日本人がする場合もあるはずですが、「外国人だから」と思われやすいのは事実です。電車などの公共の場で、外国人に対して日本人が偏見の目を向けている場面を見かけたこともあります。

こうざちょう
高座長

日本人への情報発信もしていかなければいけませんね。

りょういじん
梁委員

いくら外国人がルールを守っても、日本人がどう思っているかという問題があります。

じむきょく
事務局

徐々にではなく一気に外国人市民が増えたことで、不安に感じている日本人市民がいることは事実です。一方で、「地域に若い人が増えてありがたい」という声もあります。国の政策で外国人労働者の受け入れが進んでいますが、制度も人々の意識もついていないのではないのでしょうか。「地域での外国人市民と日本人市民の共生」という課題については、市の努力だけでは足りず、地域の協力も必要です。それ自体が一つの大きなテーマでもあり、機会があれば皆さんからそのことについても意見を聞きたいと考えています。

うつみいじん
内海委員

この会議で3年間かけて外国人市民が住みやすいまちになるように考えていくということでしたが、最近、市役所で手続きをしたときに、多言語の資料をもらえてうれしかったです。

私は、全国は難しくても、少なくとも富田林市の中で外国人のイメージがよくなってほしいと考えています。外国人市民にとってまちが住みやすい、やさしいからといって、ルールを守らなくていいということではありません。「自分の知り合いや先輩がルールに違反していても問題になっていないから、自分も同じことをしていい」ということではないと、理解してもらう必要があります。最近、入管で手続きをしたとき、「口座を売ってはいけません」という紙をもらいました。お金になるからと犯罪に加担してはだめだということです。

それから第2期会議では、自分が言った意見に対して、他の人から意見をもらえるようなやりとりをしたいと思っています。

	<p>自分の意見が正しいかどうか、自分で分からないときもあるからです。</p>
<p>ヴァー委員</p>	<p>最近、ベトナム人市民が増えていますが、人によって日本に来た目的は違います。それによって、例えば確定申告について、自分でしなければならない人もいれば、会社でやってくれるところもあります。確定申告のことをみんなほとんど知りませんし、どのくらいの収入があれば住民税がかかるようになるのかなど、分からないことが多いです。</p>
<p>じむきょく事務局</p>	<p>税の申告を自分でする必要があるか、会社で年末調整をしてもらえるかなど、人それぞれの状況によって変わりますので、一律に説明することは難しいですね。</p>
<p>こうざちょう高座長</p>	<p>事務局も言うように、人によって変わりますので、国際交流協会に来て相談してもらえればサポートします。</p>
<p>ヴァー委員</p>	<p>これは私というより周りの人の困りごとですが、国際交流協会は平日しかやっていませんよね。みんな働いていますので、平日には行けません。</p>
<p>こうざちょう高座長</p>	<p>来年の申告の時期に、休日に国際交流協会で税の申告のサポートをできないかどうか、相談してみます。</p>
<p>もんいん孟委員</p>	<p>外国人市民の人口は増えていきますので、この会議の委員も増やすほうがいいと思います。一言で「外国人」と言っても、国はそれぞれ違います。外国人全体に共通する困りごともあります。出身国によって異なる課題を抱えていることもあるでしょう。国ごとに取り上げて、そこで話し合ったことをまた同じ国の人に広めてもらうのもいいかもしれません。</p> <p>外国人は日本人にどう思われているか気にしています。地域住民として認めてほしいという思いがあります。この会議を通して、外国人に安心してほしい、地域の一人として生活してほしいと思います。</p>

ほとんどの外国人は公的な機関に行くので、そこに助けてもらいたいと思うのではないのでしょうか。日本人も市役所でいろいろなことを解決してもらっていますが、それは外国人にとっても同じです。近所の人との付き合いは隣の人との問題というだけでなく、自分だけの問題でもありません。

外国人市民に祭りのようなイベントや、このような会議に参加してもらうことで、もっといいことがあるでしょう。先日、京都に行き、たくさんの外国人を見かけましたが、そこには観光客だけではなく日本で生活している人もいます。例えば、コンビニに行けば外国人スタッフが店員として働いていました。そのような外国人はこれからもっと増えていきます。地域の発展にもつながると思いますので、いい関係を築きたいです。

とくなが ふくざちょう
Tokunaga副座長

外国人労働者、留学生がどんどん日本に入ってくる中で、いろんなイベントに参加してほしいですね。先ほど、提言書案の中で「ユニバーサルデザイン」という言葉がありましたが、ユニバーサルとは「世界中」ということでもあります。